

11/28

ぜい 税^{かんが}について考えてみよう

「中学生の税についての作文」表彰式

税への関心と正しい認識を持つことを目的に募集した「中学生の税についての作文」の表彰式を市役所で行いました。

教育長賞を原 実佑さん、納税貯蓄組合連合会会長賞を百田 千紗さん(ともに筑紫野南中3年)、筑紫法人会会長賞を樺山 桃子さん(筑紫野中3年)、納税貯蓄組合連合会感謝状を天拝中学校が受賞。筑紫野市長賞は「税金でつなぐバトン」と題し「災害時や授業料などに税が使われることを忘れず、納税の義務を果たし社会を支えたい」と書いた筑紫野南中3年の緒方 悠人さんが受賞しました。



前列左から百田さん、緒方さん、藤田市長、原さん、樺山さん

11/20

ちびっこ^{おうえんだん}応援団の大きなエール^{おお}

むさしヶ丘保育園勤労感謝訪問

むさしヶ丘保育園では勤労感謝の日を「ありがとうの日」とし、お世話になっている人を訪問して感謝の意を伝えています。今年は5歳児の子どもたち34人が、勤労感謝の日を前に藤田市長を訪問しました。

子どもたちは声をそろえて「フレーフレーお仕事！」とエールを披露してくれた後、みんなで作ったクッキーやリースをプレゼントしてくれました。

藤田市長から「皆さんのためにお仕事頑張ります」とお礼があった後、ハイタッチをしてお別れしました。



11/26

ことし けんきゃく^{せいそろ}今年も健脚ランナーが勢揃い! 筑紫路^{ちくしじ}を駆ける^か

筑紫野市総合公園の天拝湖周回コースにおいて、今年も天拝山ロードレース大会が開催されました。2.5km、5km、10kmに市内外の小学生や中学生、高校生、一般から約1000人が出場しました。

今回は、第45回の区切りの年ということもあり、ゲストランナーに、長距離種目で世界陸上でも活躍した三津谷 祐選手(トヨタ自動車九州)を招き、一緒に汗を流しました。5km中学男子1年の部では大会新記録も生

第45回天拝山ロードレース大会

まれました。

今大会では、九州産業高校や筑紫高校をはじめとしたボランティアの皆さんによる大会運営の補助や、地元山口区、ちくしの物産振興会、天心園などによる物産販売の協力をいただきました。

開催当日は天候もよく、ランナーたちは練習の成果を発揮しようと懸命に走っていました。



10kmの部が一斉にスタート



一般の部でゴールするゲストランナーの三津谷選手

ちくしのクリップ

12/6

タイの介護予防の参考に。健康づくり運動サポーターを視察

福岡県の友好提携先であるタイ・バンコク都で介護予防推進プロジェクトの参考とするため、タイからボランティアのコミュニティトレーナー15人が筑紫野市健康づくり運動サポーターの活動の視察を行いました。

コミュニティトレーナーの皆さんは、地域型健康づくり講座「ふれあいスポレク」(筑紫コミュニティセンター)に参加し、脳トレやストレッチ体操、ロコモ体操、レクリエーションなどを講座参加者や運動サポーターと一緒に



慣れない動きに戸惑いながらも楽しく行った「ラダートレーニング」

タイ・バンコク都コミュニティトレーナー研修会視察

に行き、楽しみながら汗を流しました。

講座の後には、サポーターとの意見交換が行われ、熱心に健康づくり運動サポーターの成り立ちについて質問が出されていました。

視察したコミュニティトレーナーは「元気な筑紫野市のサポーターの皆さんを手本として、タイを元気にできるように頑張りたい」と話していました。



一緒に行ったレクリエーション。空き缶を運ぶ「カントリーゲーム」

12/3

子ども同士のふれあいの場

市子連創立40周年記念「子ども会あそび広場」

筑紫野市子ども会育成会連絡協議会が創立40周年を記念して「子ども会あそび広場」を農業者トレーニングセンターで開催しました。会場を8つのブースに分け、この日のために研修を受けた各ブース担当の子ども会リーダーたちが、参加した子どもたちに遊び方を説明しました。

各ブースでは自由に子どもたちが遊び、子ども会リーダーたちは初めての子にも分かるように遊び方を丁寧に教え、楽しい笑顔であふれていました。



「ひもあそび」の手品を丁寧に教える子ども会リーダー

11/29

音訳テープのダビング機
福祉助成先に決定

朗読ボランティアさくら会福祉助成贈呈式

広報ちくしのや議会だよりの音訳テープづくり、盲養護老人ホーム寿光園や県立福岡視覚特別支援学校での対面朗読など、声のボランティアを行う「さくら会」の皆さんが今年度、みずほ福祉助成財団の助成先として決定し、贈呈式がカミーリヤで行われました。

助成により、老朽化したカセットテープダビング機を新たに購入するさくら会の皆さんは「これからは安心して音訳テープのダビングができます。大切に使いたいですね」と笑顔で話していました。



平成29年度公益財団法人みずほ福祉助成財団贈呈式